

西部環境センター維持管理記録書(令和3年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	2,926	
		2号炉	2,244	
		3号炉	1,978	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	1,059	800 以上
		2号炉	4月30日	976	
		3号炉	4月30日	960	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	183	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	182	
		3号炉	4月30日	177	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	21	100 以下
		2号炉	4月30日	20	
		3号炉	4月30日	24	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (チンブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	1号炉	4月13日	5月7日	0.029 m ³ N/h	36.98 m ³ N/h
	1.2 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.0 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					1.8 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			51 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月			12 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	2号炉	4月16日	5月7日	0.14 m ³ N/h	37.92 m ³ N/h
	5.2 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					9.4 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					5.7 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月			57 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月			9.4 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	3号炉	4月6日	4月27日	0.014 m ³ N/h	36.62 m ³ N/h
	0.6 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					1.2 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					0.8 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月			40 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月			0.42 ^{※6} µg/m ³	50 µg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 4/6測定値(65 µg/m³)が基準を超過したため、大気汚染防止法に則り3回再測定した結果を含め最大最小値を除いた平均値を記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,281
		2号炉	3,064
		3号炉	3,084

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	1,059	800 以上
		2号炉	5月31日	988	
		3号炉	5月31日	976	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	183	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	183	
		3号炉	5月31日	179	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	23	100 以下
		2号炉	5月31日	20	
		3号炉	5月31日	21	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	5月7日	6月1日	0.13 m ³ N/h	38.14 m ³ N/h
	5.0 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					8.5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					5.6 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				51 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	2,958
		3号炉	2,964

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	—	800 以上
		2号炉	6月30日	977	
		3号炉	6月30日	976	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	—	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	183	
		3号炉	6月30日	180	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	—	100 以下
		2号炉	6月30日	19	
		3号炉	6月30日	19	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	/	
ばいじん	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	6月4日	6月25日	0.042 m ³ N/h	35.80 m ³ N/h
	2.0 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					2.9 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					58 ppm	180 ppm
	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	6月1日	6月25日	0.030 m ³ N/h	36.56 m ³ N/h
	1.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.1 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					2.4 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					48 ppm	180 ppm
	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	2,848
		3号炉	2,919

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	7月31日	962	
		3号炉	7月31日	989	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	184	
		3号炉	7月31日	182	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	7月31日	16	
		3号炉	7月31日	16	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	7月2日	7月29日	0.00061 ng-TEQ/m ³ N
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N				
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,720
		2号炉	3,047
		3号炉	2,063

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	963	800 以上
		2号炉	8月31日	967	
		3号炉	8月31日	977	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	177	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	184	
		3号炉	8月31日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	31	100 以下
		2号炉	8月31日	14	
		3号炉	8月31日	15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月17日	9月10日	0.027 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	8月17日	9月8日	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	8月13日	9月8日	0.000034 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月24日	9月21日	0.019 m ³ N/h	37.22 m ³ N/h
	0.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.9 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.3 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		30 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		0.26 µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月6日	9月3日	0.036 m ³ N/h	38.61 m ³ N/h
	1.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5.5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	3.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		51 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		0.19 µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	8月3日	9月3日	0.029 m ³ N/h	36.95 m ³ N/h
	1.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.7 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		48 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		0.24 µg/m ³	50 µg/m ³			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,734
		2号炉	210
		3号炉	2,767

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	984	800 以上
		2号炉	9月30日	963	
		3号炉	9月30日	966	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	176	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	182	
		3号炉	9月30日	178	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	18	100 以下
		2号炉	9月30日	17	
		3号炉	9月30日	18	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm		
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月3日	10月1日	0.046 m ³ N/h	36.94 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					2.0 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					11 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月					6.8 ppm	
全水銀	1回/4月				51 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月					ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,914
		2号炉	—
3号炉		2,941	

データ 項目	測定位置	結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	1,011	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	995	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	181	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	181	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	14	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月31日	15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月5日	10月21日	0.11 m ³ N/h	38.17 m ³ N/h
	5.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					9.4 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					5.8 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				56 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	10月1日	10月21日	0.10 m ³ N/h	37.53 m ³ N/h
	5.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					8.3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					5.1 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				66 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,906
		2号炉	767
3号炉		2,917	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	1,020	800 以上
		2号炉	11月30日	957	
		3号炉	11月30日	1,002	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	183	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	175	
		3号炉	11月30日	182	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	15	100 以下
		2号炉	11月30日	28	
		3号炉	11月30日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	11月2日	11月26日	0.013 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	11月5日	11月30日	0.00026 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,965
		2号炉	2,035
		3号炉	2,960

データ 項目	測定位置	結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	1,021	800 以上
		2号炉	12月31日	963	
		3号炉	12月31日	993	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	180	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	179	
		3号炉	12月31日	181	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	20	100 以下
		2号炉	12月31日	20	
		3号炉	12月31日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	12月17日	1月14日	0.0065 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月21日	1月28日	0.021 m ³ N/h	37.12 m ³ N/h			
						0.90 ppm				
ばいじん	1回/2月		<0.001 g/m ³ N			0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月		2.5 mg/m ³ N			200 mg/m ³ N				
			1.5 ppm							
窒素酸化物	1回/2月		48 ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		0.28 µg/m ³			50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サンプリング口)			2号炉	12月7日	1月28日	0.12 m ³ N/h	37.00 m ³ N/h
									5.9 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N			0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	39 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N						
		24 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	51 ppm		180 ppm						
全水銀	1回/4月	0.94 µg/m ³		50 µg/m ³						
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)		3号炉	12月10日	1月28日			0.035 m ³ N/h	36.19 m ³ N/h
									1.7 ppm	
ばいじん	1回/2月			<0.001 g/m ³ N					0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月		3.3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N						
			2.0 ppm							
窒素酸化物	1回/2月		42 ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月		0.93 µg/m ³	50 µg/m ³						

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和4年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,533
		2号炉	2,331
		3号炉	1,035

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	1,023	800 以上
		2号炉	1月31日	1,002	
		3号炉	1月31日	986	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	184	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	180	
		3号炉	1月31日	181	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	18	100 以下
		2号炉	1月31日	17	
		3号炉	1月31日	18	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	1月11日	0.021 m ³ N/h	36.70 m ³ N/h	
					1.0 ppm		
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				2.6 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					1.5 ppm		
窒素酸化物	1回/2月				72 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月			2月4日	μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和4年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,136
		2号炉	2,104
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	1,013	800 以上
		2号炉	2月28日	1,007	
		3号炉	2月28日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	186	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	183	
		3号炉	2月28日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	22	100 以下
		2号炉	2月28日	23	
		3号炉	2月28日	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	休炉
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	休炉

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	2月15日	3月11日	0.016 m ³ N/h	37.87 m ³ N/h
	0.60 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					1.8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1.1 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					40 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	2月18日	3月11日	0.026 m ³ N/h	37.63 m ³ N/h
	0.90 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.0 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1.8 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					58 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	/	/	μg/m ³	50 μg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和4年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,830
		2号炉	3,022
		3号炉	1,560

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	1,006	800 以上
		2号炉	3月31日	975	
		3号炉	3月31日	977	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	182	
		3号炉	3月31日	178	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	22	100 以下
		2号炉	3月31日	25	
		3号炉	3月31日	25	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
ばいじん	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	ppm	180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				ppm	180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。